

JGNII イベント利用報告書

九州産業大学 情報科学部
下川俊彦

1. イベント名：

日韓遠隔中学生遠隔授業（イベント 018）

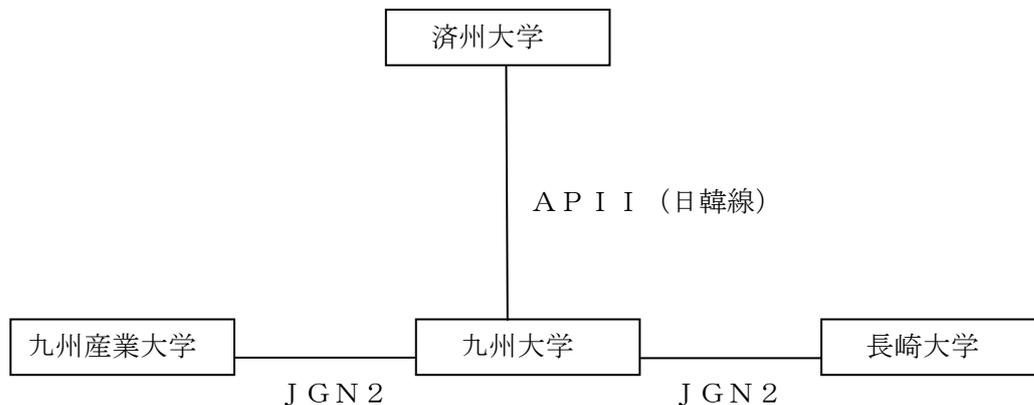
2. イベント概要：

長崎大学教育学部附属中学校で実施される、「自己探求」教科において、韓国と高画質動画通信を用いた交流を行う。本授業の指導内容は基本的なインターネット技術の理解、であり、説明に先立ち、日韓高画質動画通信を体験することで、インターネットについての興味を増してもらうことを期待している。

また、本授業は研究発表会としても実施されるため、市内各地から他中学校の教員の参観が見込まれる。そのような参加者に対しても同様にインターネット技術に対して関心を持ってもらうことを期待している。

3. JGNII 利用の概要：

今回の接続概念図は以下のとおりである。



九州大学と長崎大学を JGN2 を用いて接続した。九州大学は APII 日韓線を用いて、韓国 KOREN との接続性を持っている。韓国济州国立大学校は KOREN に接続されている。また、長崎大学教育学部附属中学校は長崎大学キャンパスネットワークに接続されている。この経路を利用して、济州国立大学校と長崎大学教育学部附属中学校を接続した。

この経路上で DVTS を利用した。

4. イベント参加人数

長崎大学教育学部附属中学校側：

授業参加生徒数： 31

授業指導者： 2

授業参観者： 約30

技術支援者： 5

韓国济州国立大学校側：

授業参加者： 2

技術支援者： 5

5. 実施の評価など

授業に参加した生徒たちは、高品質な国際動画通信にとっても興味を持ってくれた。この結果、この授業の目的であった基本的なインターネット技術の理解というテーマへの導入に、非常に大きな役割を果たした。

また、本授業は長崎大学教育学部附属中学校の研究授業の一環として行われた。報告者が担当した授業は技術科の授業であった。このため、市内各地から約10名の主に技術科の先生方の参観があった。このため、中学生へのプレゼンテーションだけにとどまらず、これらの先生方に対しても、先進的なネットワーク技術をデモンストレーションすることができたことは大きな成果だと考える。

ただ、残念ながら、韓国側のネットワークの問題で、DVTS が双方向 full rate (30fps) での通信が実施できなかったのは残念であった。事前のテストでは双方向 full rate でパケットロスも無く通信できていただけに残念であった。

しかし、いずれにせよ JGN2 を用いた広帯域ネットワークを利用できたことで、高品質国際動画通信を、中学生に体験してもらうことができ、大変有意義であった。

6. 開催模様

以下に、当日の日本側会場の様子を示す。



授業を行う報告者（背景は DVTS 経由の済州大の学生）



通訳（ホワイトボードの前に立っている方。韓国から長崎大学工学部への留学生）を通して、韓国との会話を行った。



会場の後方の様子。生徒の後方は参観の先生方。一部、長崎大学教育学部の学生（教育実習生）も含む。



今回利用した日本側の機材